

Bさん

福祉用具情報プラザ

(令和元年度採用)

ある1日の仕事の流れ

- 9:15 展示福祉用具の点検
メールチェック、開館準備
- 10:00 開館、歩行車の相談対応
- 10:30 車いすメーカーとの新規展示
に係る打合せ
- 11:30 昼休憩
- 12:30 住宅改修の相談対応
- 14:00 介護テクノロジーセミナーに
係る講師との打合せ
- 16:00 住宅改修講習会に係る内容の
会議
- 17:00 介護ベッドの相談対応
- 17:30 住宅改修講習会に係る資料作
成
- 18:00 退社

※10:15~19:00の勤務もあります。

Q1.入職までの経緯は？

A1. もともと病院で6年間、作業療法士として勤務していました。リハビリテーション(以下「リハ」)の現場で外部研修に参加した際、福祉用具を活用する大切さを実感しました。その後、患者さんのために金沢福祉用具情報プラザ(以下「プラザ」)へ相談に伺うようになり、職員の専門性や福祉用具の可能性に強く惹かれました。「臨床経験を福祉用具の分野で活かしたい」と思い、金沢市社協への入職を希望しました。

Q2.担当している業務&やりがいは？

A2. 現在は、福祉用具に関する相談対応が中心です。病院での継続支援と違い、プラザでは「その場で解決する力」が求められます。作業療法士としての評価力を活かし、提案した福祉用具が相談者にぴったり適合したとき、大きなやりがいを感じます。

また、約1,300点にのぼる展示品の管理や、展示品の入替に伴うメーカーとの交渉にも関わっています。メーカーの開発担当者と直接話をする中で、福祉用具の研究・開発への情熱や最新情報に触れられるのはこの職場ならではの魅力です。

さらに、医療・介護・福祉の専門職に向けた研修会や展示会の企画・開催も担当しています。住宅改修や持ち上げない介護といったテーマを扱い、ときには自ら講師として登壇する機会もあります。リハ専門職としての視点を活かしながら、学びと発信の両方ができる点は、キャリアアップにも直結しています。

Q3.金沢市社協で働きたいと思っている方へメッセージをお願いします。

A3. プラザは火曜が休館で、土日が完全休日とは限りませんが、平日休みは出かけても人が少なく有意義に過ごせます。有給休暇も取得しやすく、連休を取りやすいのも働きやすさの一つです。

私は7年間勤務していますが、これほど大規模な福祉用具展示場は全国的にも珍しく、北陸三県では唯一です。臨床で培ったリハの視点を、福祉用具の分野で広く活かせる環境がここにはあります。

福祉用具やリハの可能性に興味がある方には、きっと刺激的でやりがいのある職場です。仲間として一緒に働ける日を楽しみにしています。